

『住民の顔が見える広報』を目指し地域おこし協力隊がまちに飛び出て市民の皆さんをクローズアップ！
今回は、『赤平アジサイロードの会』会長として、『北海幹線用水路』の景観維持や、青少年の健全育成のための活動を続けている住吉町にお住まいの井上俊昭さんにお話を伺いました。

赤平アジサイロードの会 会長
井上 俊昭さん



『北海幹線用水路』って？

赤平市住吉町が起点となって、南幌町までの約80kmを繋ぐ農業用水です。空知管内の農業の基盤となる大切な『水』を支えています。平成16年には『北海道遺産』に選定されました。



★『赤平アジサイロードの会』を始めた経緯は？

活動を始めるまで、北海幹線用水路の周囲は草が生い茂っていて、向こう岸が見えないほどだったんだ。それを何とかしようと思いついた仲間たちと一緒に話し合っていて、色彩が鮮やかで、毎年花が咲く『あじさい』を植えることになったんだよ。

★活動の目的は？

第一に、北海道遺産に選定された北海幹線用水路の景観を守ること。次に、花を通じて子どもたちの成長に貢献すること。そして、花を見ながらウォーキングやジョギングをしてもらえるような環境を整備すること。この3つを軸に活動しているよ。

★現在はどんな活動を？

最初は、『あじさい』を植栽するところから始めたんだけど、徐々に桜を植えたり、用水路周辺の道路を整備したり、さらに『田んぼの学校』(稲作体験)を小学生たちに開催したりと、活動を続けていくうちに、どんどん色々な事業に発展していったんだ。正直自分でも、ここまで規模が大きくなるだなんて想像もしてなかったね(笑)。

★やりがいを感じる瞬間は？

みんなで丹精込めてつくったアジサイロードを、実際にウォーキングやジョギングコースとして利用してくれる人の姿を見ると、やっぱり嬉しいね。

それと『田んぼの学校』のときには、子どもたちが目を輝かせて話を聞いてくれるんだ。苗を植えたり、お米が育つ過程を実際に体験することを通じて、これまで『食』の意識が変わって、食べ物の大切さを理解してくれている姿を見てみると、この活動をしていて本当に良かったって感じるよ。

★これからの目標は？

大変だと思う以上に、「次はこうしてみたいな」と思い描いたことが、いろんな人の支援のおかげで、どんどん実現していく日々が楽しくて仕方ないんだよ。

今年も試験的に「かかし」をつくる計画をしているよ。あじさいと一緒に「かかし」を眺めてウォーキングする空間があったら面白いなって思ったんだ。今後も、現在の景観を維持しながら、ウォーキングなどで多くの人に利用してもらえよう、試行錯誤していきたいね。



編集後記

地域おこし協力隊 まちの情報発信部門
愛知県出身 野口 暢子



『火太鼓保存会』の練習に参加して早1年。先日、初めて火太鼓の法被に袖を通して、皆さんの前で演奏しました。『火まつり』での発表に向けてもっと上達できるように練習を重ねていきます!!!



多くの人の思いが詰まった『アジサイロード』は、これまでに延べ4,500株の『あじさい』と、300本の『エゾヤマザクラ』が植栽・植樹されました。今年も6月末から『あじさい』が綺麗な花を咲かせます。是非ゆっくりお散歩してはいかがでしょうか。